

ダンテ神曲の研究 ..... 石倉小三郎 ..... 一

——未発表 抜萃——

ノート組織による学習指導に関する研究 ..... 荒井貞雄 ..... 二

場所的論理と宗教について ..... 海辺忠治 ..... 三

——西田哲学宗教論の一考察——

あれこれと  
綴り合せて 累 談 義 ..... 沼波守 ..... 七

源氏物語「花ちる里」の一本について ..... 田中重太郎 ..... 翌

欧米仏教会の現況と将来 ..... 岡 邦 俊 ..... 六

——欧米出張旅行報告書——

欧米ヴァイオリン教育について ..... 東 儀 祐 二 ..... 壹

——欧米旅行で感じた事——

2 Poems op.32 (Skriatin) ..... 徳 末 悦 子 ..... 三六

Prelude Gis-moll op.32

(Rachmaninoff) No.12

芸術教育のために……………酒井 醇……………二六

——芸術教育の意味とその正しい位置づけのための省察への序章——

Softage (その一)……………大橋 博……………二〇〇

シヨパン論 (三)……………佐藤 允彦……………一八三

——ポーランド時代——

ソレムのリズム理論による旋律線の研究……………津曲 滋子……………一五四

最近の研究報告……………富田 朋介……………一五三

食品の色について……………塩野 緑……………一四三

婦人服の袖付線の解析……………神田美年子……………一三四

色彩と衣生活……………山本登美子……………一〇八

——服飾に取扱われる色の流れ——


中学校技術・家庭科の教材観……………荒木 稔子……………九

ミシンの運動 (一)……………加藤 訓男……………六〇

——針の運動に関する力学的解析——

# 研究論集 正 誤 表

頁	個所	誤	正
1	下段3行目	王 Iohann	王 Johann
〃	〃 12行目	klans	Klans
2	上段8行目	求め得そうであろう	求め得られそうであろう
3	下段2行目	調うて	調うにて
4	上段1行目	国語	用語
〃	〃 8行目	さまじい。	さまじい。』
〃	〃 10行目	Ugolinoe 個の場面	Ugolino の場面
〃	〃 20行目	Oaute	Dante
〃	下段6行目	Suido	Guido
〃	〃 7行目	Ualatesta	Malatesta
〃	〃 10行目	Raolo	Paolo
5	〃 3行目	ツオスマン訳に従う	(ツオスマン訳に従う)
〃	〃 8行目	軋々	縷々
〃	〃 18行目	テルツイーネ＝聯	テルツイーネ二聯
6	上段10行目	Know	抹消
〃	〃 11行目	……thy	……thy guide doth know
〃	〃 13行目	yuld	Yield
〃	〃 16行目	Lave	Love
〃	〃 17行目	Without	Without
〃	〃 18行目	Onr	Our
〃	〃 19行目	onr	our
〃	〃 〃	world	Would
〃	〃 22行目	whonv	who
〃	〃 〃	nonght	nought
〃	下段2行目終	writ	wrote
〃	〃 3行目	Uhon	Upon
7	下段8行目	Pin	Piu
〃	〃 〃	avaute	avante
8	上段17行目	あれど	されど
〃	下段4行目	包むよ。	包むよ。』
〃	〃 6行目	ただ一と日。一と時	ただ一と日、一と時、
9	上段12行目	温去	過去
〃	〃 終行	フィラレテス) ザクセン国王)	フィラレテス (ザクセン国王)
15	上段終から7行目	罫紙	表紙
20	第三表平均の行	41.4	4.14
〃		79.2	7.92
22	上段8行目	未	未
26	1行目	に溶合するか	→ と一であるとか
35	4行目	又三木清	→ 又三木清氏
4 (215)	下段1行目	或は他律的な	或他律的な
5 (214)	上段18行目	創造のいとなめをおいて	～いとなみをおいて
6 (213)	下段3行目	期待することを出来ない	～することも出来ない
7 (212)	上段7行目	在り方からして目的論的に	在り方からして) 目的論的に
〃( 〃 )	〃 17行目	芸術教育言論	芸術教育論

頁	個所	誤	正
9 (210)	下段 6 行目	(p. v)	(p. v)
11 (208)	上段 14 行目	イメージの取々を相互に～	～の数々を「相互に～
12 (207)	〃 9 行目	過去幾世紀を通じて	～をも通じて
13 (206)	〃 14 行目	魂その自身の道徳的傾向	魂それ自身の～
〃 (〃)	下段 11 行目	二重模倣	二重の模倣
〃 (〃)	〃 3 行目	(イメージゴイング)	イメージゴイング
〃 (〃)	〃 2 行目	<精神的ならもの>プラトンでは <美のアイデア>の表現	<精神的なるもの>(プラトン では<美のアイデア>)の表現
14 (205)	上段 3 行目	右のような	上のような
23 (196)	上から 6 行目中央 下から 6 行目	然し原調の主旨 間違はないで	然し新調の主旨 間違わないで
33 (186)	上から 5 行目		
	一番下の譜例二小切目の頭に	♯を入れる	
34 (185)	4 行目		
95 (124)	目次	1. 緒言 2. 実験方法及び実験 1. } 6. } 3. 数学的解析 4. 実験結果及び考察 1. Pattern の考察	1. 緒言 2. 実験方法及び実験 1. } 6. } 3. 数学的解析 4. 実験結果及び考察 1. Pattern の考察
100 (119)	1 行目	第 4 表 腕付根回寸法の測定	腕付根回り寸法の測定
102 (117)	3 行目	最も深い弧の接線結び	最も深い弧の接点を結び
105 (114)	第 16 図	被験者 6×—×の一部が点線になっているのを実線に直すこと	
106 (113)	第 6 表 差の平均 90° のところ	-33.5	-3.35
108 (111)	1 行目 10 行目	「いせ」の部分的に考察 即ち腕付根回り	「いせ」を部分的に考察 即ち腕付根回り
129	上から 1 行目	産業大革命	産業革命
〃	上から 3 行目	独自の機構	独自の機構※
132	上から 2 行目	$\sin\alpha=2\sin\beta$	$\sin\alpha=2\lambda\sin\beta$
133	下から 1 行目 2 行目	連桿 〃	連桿 〃
137	下から 1 行目	石橋設計課長代理	古橋技術課長代理
130		(1') 式の右辺の [ ] の中の第三項の係数 $\frac{1}{514\lambda^8} \rightarrow \frac{1}{512\lambda^8}$	
130		(2) 式の右辺の [ ] 内の第 4 項の係数 $\frac{3}{8192\lambda^8} \rightarrow \frac{3}{8192\lambda^5}$	
130		(4) 式の右辺の [ ] 内 第 4 項の係数 $\frac{3}{4092\lambda^5} \rightarrow \frac{3}{4096\lambda^5}$	
134	上から 5 行目及び 6 行目の左辺の第 2 項	$\left(1 - \frac{1}{(2\lambda+1)^2}\right)^{\frac{1}{2}} \rightarrow \left(1 - \frac{\epsilon}{(2\lambda+1)^2}\right)^{\frac{1}{2}}$ $\left(1 - \frac{1}{(2\lambda-1)^2}\right)^{\frac{1}{2}} \rightarrow \left(1 - \frac{\epsilon}{(2\lambda-1)^2}\right)^{\frac{1}{2}}$	
137		Fusuke $\rightarrow$ Fukusuke	